

研究機関：広島大学

研究課題名 栄養状態と脳卒中の予後の関連

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文

研究期間 2017年7月26日(倫理委員会承認後)～2023年3月31日

対象者

2009年10月から2018年9月の間に、広島大学病院脳神経内科で急性期脳卒中による治療を受けられた患者さん。

意義・目的

低栄養は現在急性期脳卒中の予後不良因子ということが明らかになっていますが、栄養状態を評価する有用な指標についてはまだ解明されていません。今回、急性期脳卒中患者で入院時の栄養状態と退院後の予後との関連を検討することで有用な予後予測因子を明らかにするため、この研究を計画しました。

方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は年齢、性別、身長、体重、現病歴、既往歴、悪性腫瘍合併の有無、生活歴、脳卒中重症度、脳卒中病型、処方内容、血液検査所見、生理学的検査所見、頭部放射線画像所見、口腔内環境（歯の状態）です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）

共同研究機関

近森病院 神経内科

広島大学に情報を集め広島大学が解析します。

試料・情報の管理責任者

広島大学大学院医系科学研究科脳神経内科学 教授 丸山 博文

個人情報保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

TEL: 082-257-5201

広島大学病院脳神経内科 助教 祢津 智久